

# くらしのちえ

発行 東京都台東区東上野4-5-6 台東区役所区民部くらしの相談課 TEL03(5246)1144

What's  
Ethical?

## エシカル消費ってなに？

～「エシカル」を心がけて持続可能な社会を実現しよう～

「エシカル消費」という言葉を聞いたことはありますか？初めて見聞きする方も多いのではないのでしょうか？

実は私たち消費者が何気なく毎日行っている買い物などの消費活動を「エシカル」なものへと心がけることで、社会を持続可能な方向へ動かすこともできます。今回は、そんな「エシカル消費」について考えてみましょう。

まずは

### 「エシカル」って何？

エシカルとは「倫理的な、道徳的な」という意味の英単語で、エシカル消費とは「よりよい社会に向けた、人や社会・環境に配慮した消費行動」と定義されています(消費者庁ホームページより)。

山本良一氏(東京大学名誉教授)はエシカルについて「法律になってはいないけれど多くの人が合意している価値基準」と考え、「環境への配慮」「地域への配慮」「社会への配慮」の3つに分類しています。

もう少し具体的にすると「地球温暖化などの環境問題や、障害者の雇用、途上国の児童労働を始めとする劣悪な労働環境の問題などに対して、消費を通じて支援をするアクション」とも言えます。

#### 環境への配慮

例えば…グリーン購入

買う前に「必要かな?」と考える、買う時にもサイズが調整できる洋服など、長く使えるものや、詰め替え用があるものを選ぶなど、環境負荷が小さい製品を選んで購入する。



#### 地域への配慮

例えば…応援消費

震災で被害にあった地域で生産されている製品を購入することで、地域を応援する。



#### 社会への配慮

例えば…フェアトレード製品を買う

驚くほど安い価格で販売されている途上国産の製品。でも安さを生み出すため、生産者が低賃金で働かされたり、必要以上の農薬が使用され環境が破壊されていたら…。フェアトレードはその生産者の労働環境や生活水準が保証されるよう正しい取引をして販売している製品のことで。



## 今、なぜ「エシカル」なの？

例えば「バナナを購入する場面」で考えてみましょう。

お店に行って商品を見るとき「新鮮かな？」「値段はどうか？」「農薬はどの位使っているの？」など考えて品物を決めますが、例えば安くても「劣悪な労働環境で生産されたもの」だとしたらどう感じますか？逆に高くても「地域支援」になるとしたらどうでしょうか？

エシカル消費はこのように「倫理」や「他人を思いやる」といったことを考えた消費なのです。

これまでも環境配慮に積極的な消費行動を「エコ」や「グリーン」という言葉で表現していました。でもこれらは、環境にやさしいということは伝わっても「自分たちから見えない社会全体への配慮が必要」ということが伝わりづらい言葉でした。

「エコ」「グリーン」「ロハス」より「社会責任」や「社会問題」といった、もっと広い意味で表現すると「エシカル」がちょうどあてはまりそうです。

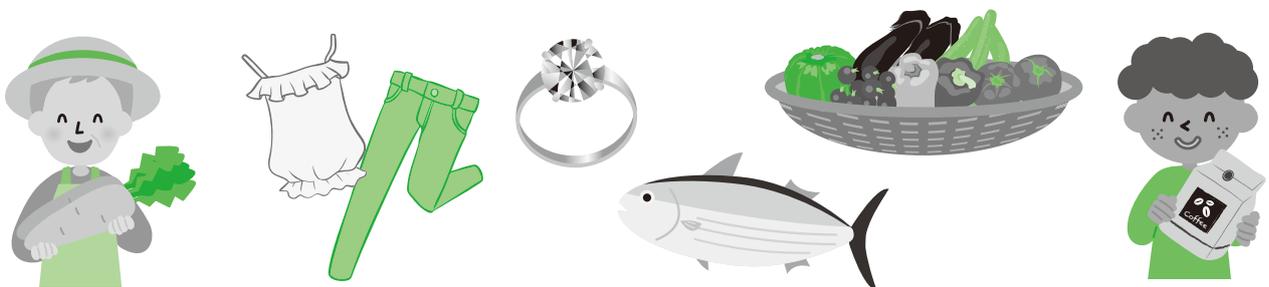
また、エシカル商品にはトイレタリーや家電、アクセサリーを含めたファッションや、オーガニック食品など、フェアトレードの仕組みを利用した幅広い商品があります。



## 大量生産・大量消費からエシカルな生産・消費で持続可能な社会へ

現代は、流通や保存の技術が発達し遠方で生産された商品や海外からの輸入品を購入することも当たり前になっています。その結果、生産者と消費者の距離が遠くなってしまい、その商品が児童労働を始めとする劣悪な労働環境の下で労働者（動物も含め）が犠牲になって生産されていても消費者は知らない（知らされない）ままです。

そんな中で、3.11東日本大震災をキッカケに、「省エネ製品の導入」や「エコな暮らし」に多くの人に関心を持つようになってきました。



日本には「売り手も買い手も満足し、社会貢献できるのが良い商品」という意味の「三方よし」という言葉があります。

復興支援や生産者の顔が見える野菜など「一つの商品や製品の作られた背景やストーリーを考えて消費（購入）することが、見えない労働者のためになる」というエシカルの考え方は「三方よし」の考え方にも通じ、次世代の社会へツケを残さない＝持続可能な社会の実現につながります。

## くらしに「エシカル」を取り入れよう

頭で考えても始まらない。では、何をすればいいのでしょうか？

例えば

- 風評被害にあっている地域の農産物・海産物を購入する
- 寿命が長くエネルギー効率の良いLED電球を選ぶ
- 地元や産地に近い農産物を購入する
- フェアトレードの商品を選ぶ
- 燃費の良いエコカーを選ぶ……etc



ちょっと視点を変えて選ぶことで「エシカル消費」につながるのです。

「その商品の購入が社会にとって良い影響を与えるかどうか」が目安になると思います。あまり、難しく考えずに、できることから実践してみましょう。

ただし、せっかくエシカルな商品を購入しても、「食品を腐らせる」「ゴミの分別をキチンとしない」等環境への負荷がかかっては本末転倒です。購入から消費までエシカルな暮らしを目指しましょう。

## 何を選べばいいの？

実際に商品を選ぶ際に、何か目安になるものがあると便利ですよね。そんな時には、エシカルに関連するマークが目安となります。どのような商品にどんなマークがついているかを確認してみるのも、参考になりますよ。

コーヒー・紅茶・チョコレート・バナナなどについています



国際フェアトレード認証ラベル

鮭などの切り身や水産加工品などについています



MSCエコラベル

オーガニック繊維製品(タオル・服など)についています



GOTS(オーガニック繊維製品世界基準)

コーヒー豆についています



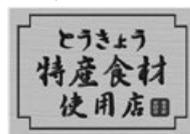
バードフレンドリーマーク

有機栽培された農産物についています



有機JASマーク

都内産農林水産物を積極的に使用している飲食店など



とうきょう特産食材使用店

都内産の原材料を使用している加工食品などについています



東京都地域特産品認証食品

## あなたの行動で未来を変えてみませんか？

買い物は企業や社会への投票です。消費者が商品を選んだ時が、世界を変える瞬間です。

「誰かが犠牲になって作られた商品は買わない」「限られた資源を無駄にしない」などエシカルな消費を一人一人の消費者が心がけることで、今までより「環境」「社会」「地域」により配慮された商品が競争力を持つようになり、社会を持続可能な方向へ動かすことができるのです。



## 台東区消費生活サポーターをご紹介します。

台東区では平成27年度より「台東区消費生活サポーター養成講座」を開始しました。2年が経過し養成されたサポーターさんは17人となりました。

今回はサポーターさんたちの活動の様子をご紹介します。

昨年度は、第1期サポーターの方たちと一緒に「クーリング・オフ」について勉強し、寸劇を交え区民向けに講座を実施してきました。

- 区内11か所の区民事務所・地区センター・分室への「巡回出前講座」
- 消費生活展ではブースを構え消費者クイズを行い、講座を実施
- 谷中地区のふれあい介護予防教室での講座

今年度からは、第2期のサポーターの方たちも一緒に活動を行っていきます。サポーターの活動の様子については随時お知らせしていきますので、楽しみに。



## 平成29年度 消費生活サポーター養成講座

メ切  
5月31日(水)

9回の講座終了後、消費者力検定を受験していただき、3級以上の合格者がサポーター登録できます。講座の詳細は下記担当までご連絡ください。

**受講期間** 6月21日(水)～12月20日(水) 午後1:30～3:30  
上記期間に全10回実施いたします。

**会場** 生涯学習センター 4階407研修室

**費用** 受講料は無料です。  
ただし、テキスト代及び検定受験料  
(6千円程度)は自己負担となります。

\*託児付です。生後6ヶ月から就学前のお子様を対象です。  
(定員8名)



お申し込みは  
台東区役所くらしの相談課 ☎(03)5246-1144

## 台東区消費生活センター

**相談専用電話 (03)5246-1133**

**受付時間** 月～金 午前9時～午後4時まで

**受付場所** 台東区役所9階 ⑦番窓口

- 電話または来所による相談です。
- 台東区在住、在勤、在学の方が対象です。
- 相談は無料です。
- 秘密厳守ですので、安心してご相談ください。



トラブルにあった時は、  
早めに消費生活センターへ  
ご相談下さい。

「クレジット・サラ金相談」も  
常時開設しています。  
多重債務で困っている方は、  
ぜひご相談ください。

